

平成18年度施策の基本方針

本会議第1日において、市長から「今日の都市を取り巻く環境は激変しているが、このような時代こそ都市の資源や個性、特性を生かしたまちづくりに挑戦できるチャンスでもある。市民と手を携えて三田のローカル・オプティマム(地域の最適基準)を築き上げていきたい」との考えが表明され、平成18年度一般会計予算案など61議案が提出されました。

ここでは市長の施政方針演説から基本方針や予算、議案の概要を紹介いたします。

18年度基本方針

市政推進の基本姿勢では次の三つの視点に重点を置いていきます。

○**退路を断ち「行財政改革」を断行**

聖域なき事務事業の見直し、民間活力の活用促進、職員の定員・給与の見直し、第三セクターの抜本的見直しを柱に「行革断行プラン」を策定。この改革は市民の皆様にも職員にも痛みが伴うものであるが、理解を得ながら次世代に誇ることができると三田を築く。

平成18年度予算(施策別)	
自律したパートナーシップづくり(参画と協働のまち) 6億1,270万円	○市民参画・協働によるまちづくりの推進 2,584万円 ○市民主体のまちづくり活動の促進 4億4,706万円
人権の尊重と共生社会づくり(人権を尊重するまち) 5,137万円	○人権尊重社会の推進 1,468万円 ○共生社会の推進 2,296万円
暮らしの安心、安全づくり(ぬくもりのある福祉と健康のまち) 290億2,104万円	○介護予防と健康づくりの推進 5億1,910万円 ○医療サービスの充実 65億3,434万円 ○高齢者、障害者の生活支援・介護サービスの充実 52億5,681万円 ○公的扶助と医療保険の加入促進 154億5,170万円 ○暮らしの安全を守るまちづくりの推進 3億1,850万円
充実した生涯生活づくり(人と文化を育むまち) 110億9,368万円	○健やかな子どもの育成 26億872万円 ○生涯学習活動の推進 8,451万円 ○個性ある文化の継承と創造 54億4,257万円 ○スポーツ・自然体験活動の推進 2億6,797万円 ○ITを活用した暮らしの向上 4,568万円 ○就業機会の拡大と雇用の促進 1,463万円
豊かな自然と快適な生活環境づくり(環境にやさしい美しいまち) 100億4,461万円	○豊かな自然環境の保全 1億4,924万円 ○快適な生活環境の整備 28億6,041万円 ○魅力ある生活空間の創造 8,002万円 ○循環型社会の形成 16億1,421万円
活力ある経済基盤づくり(にぎわいと活力のあるまち) 6億4,398万円	○魅力ある地域農業の振興 1億4,230万円 ○活力ある商工業の振興 3億4,962万円 ○交流観光の創出 3,174万円

「元気高齢者づくり」「活老なくして繁栄なし」を基本に、本格的な高齢化

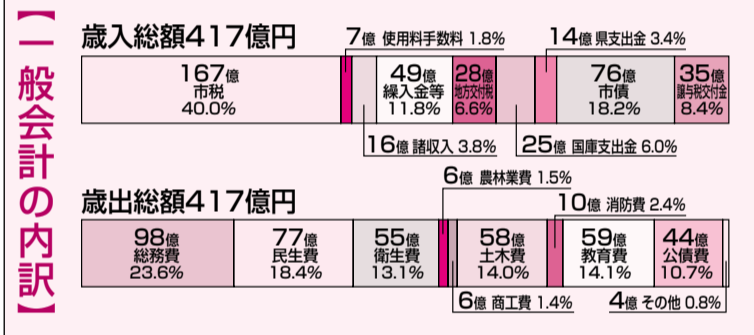
○子育て支援

三田市では昨年から死亡者数が出生者数を上回る「自然減」の傾向が明らかになってきている。暮らし方や人生の価値観など多くの要素が影響する「合計特殊出生率」の低下を抑制できる特効薬はないが、手をこまねいてはいけない。若い世代が住み続け、子育てしやすい環境を整えることが重要。「次世代育成支援地域行動計画」に掲げた諸施策を着実に推進する。

18年度予算の概要

一般会計予算案は、再開発関連事業費の減少から前年度比7.6%減の416億8,000万円となりました。

国・地方を取り巻く財政環境が厳しい状況にある中で、「行革断行プラン」の方針に沿って、事務事業や施策全般にわたって徹底した見直しを行いました。また、生活や心の豊かさが実感できる成熟都市をめざして、総合文化センターの建設や市営住宅、都市計画街路の整備、小中学校施設の大規模修繕など、必要最小限の投資的業務を行います。そのほか、地域防災力の向上、学校・園の安全対策、まちづくり活動の促進、介護予防と健康づくり、健やか



17年度補正予算

一般会計では総額18億4,800万円の減額が提案さ

れました。歳出予算のうち減額補正する主なものは、し尿処理施設整備事業3億1,028万円、河川改修事業8,330万円、小学校施設改修事業1億2,910万円など未着手事業のほか、児童扶養手当給付費2,000万円、生活保護費3,928万円、街路事業1億5,000万円、土地区画整理事業1億7,530万円など事業費の変動などにより執行残が見込まれるものです。

一方、増額する主なものとして、前年度繰越金の財政調整基金積立金7,900万円、総合福祉保健センター修繕費1,970万円、障害児学級児童生徒送迎用車両購入費390万円などです。

特別会計では、国民健康保険事業会計で、医療給付費の増加見込みなどから2,384万円の増額補正。三田駅前地区市街地再開発事業会計では、事業費の決定により3億7,633万円の減額補正。繰越明許費として駅広場バスシェルター設置工事など1億7,000万円の計上などが提案されました。

企業会計では、市民病院事業会計で、薬品費、診療材料費など医療費用4億9,900万円の増額補正。水道事業会計では、収益的支出で消費税などの見込み増により4,300万円の増額補正、資本的支出で建設改良費の決定などにより5,005万円の減額補正が提案されました。

条例

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律の規定に基づき、三

田市国民保護協議会の組織や運営に関して必要な事項を定める「三田市国民保護協議会条例」

障害者自立支援法の規定により設置する三田市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める「三田市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例」

三田市住宅資金貸付事業

特別会計の廃止に伴う「三田市特別会計条例の一部を改正する条例」など計16件です。

事件決議

三田市総合文化センターほか公の施設の指定管理者の指定や市道路線の廃止及び認定など、計22件です。

3月定例会議案審査の流れ

3月定例会では、以下のように本会議、各委員会において予算などの議案を審議しました。

